

はじめに

本市は平成 24 年 4 月に指定都市へと移行し、2 年目を迎えました平成 25 年度は、天皇皇后両陛下をお迎えしての「全国豊かな海づくり大会」をはじめ、「水銀条約外交会議」、「アジア太平洋都市サミット」が開催され、広く国内外へ本市の魅力を発信する機会を得た年になりました。

また、平成 25 年 3 月に「2013 国連“命の水”最優秀賞」を受賞したことを受け、平成 26 年 3 月 22 日（国連水の日）には“命の水”を支援する国連事務所事務局長ホセフィーナ・マエストゥ氏らを招き開催した「国際“水”フォーラム」において、世界の水管理の状況や熊本地域の水管理の違いについてご講演をいただき、熊本地域の特色である豊かな地下水の恩恵を再認識し、この大切な恵みを次世代に受け継いで行かなければならないことを改めて強く意識した年でもありました。

このような中、当センターでは、貴重な地下水の保全をはじめとして、本市の環境保全や保健衛生に関する施策の科学的根拠となるよう多種多様な試験検査や調査研究を行っております。このうち、調査研究については国の研究機関、他都市の研究機関、県内の大学と共同で行うなど充実を図っているところです。

また、本市における環境学習の拠点として、地球温暖化防止、ゴミ減量、新たなエネルギー、生物多様性への対応などをテーマとして、幅広い世代の市民の皆さんが日々の生活で実践できる環境活動に繋がるよう自主講座の開催や、地域での環境学習活動の支援に取り組んでおります。特に、センター周辺の地域の皆さんとは、ダンボールコンポストによる生ゴミ減量活動を実践するなど市民協働によるまちづくりを目指しています。

今後も市民の安全安心を確保するため試験検査の充実を図りながら、市民の皆さんと協働で環境保全活動に取り組み、身近な公共施設として存在意義を高めて参りたいと存じます。

ここに平成 25 年度の所報を発行いたしました。ご高覧いただき、ご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年 8 月

熊本市環境総合センター所長
藤井 幸三